

## 青森県初！太素の水プロジェクトが日本ユネスコ「未来遺産」に決定しました！！

日本ユネスコホームページ <http://www.unesco.or.jp/>

この度、稲生川の自然、歴史、文化を守り、活かそうと活動してきた地域のみなさんの思いと努力が実り、一つの大きな評価を得ることができました。この活動の趣旨に賛同して下さり共に活動して下さったみなさん、ご支援、ご協力、本当にありがとうございました。これからも地域一体となって、地域の未来を創っていきましょう。

### 太素の水プロジェクトとは

150年前の人工河川稲生川の開削にはじまる先人たちの地域づくりは、自然を敬い人々の自律的協力により大業を成すというものでした。その志を受け継ぐ、一本木沢ビオトープ協議会、稲生川せせらぎ活動委員会、新渡戸記念館ボランティア Kyosokyodo（共創郷土）の市民活動を、北里大学獣医学部、稲生川土地改良区、新渡戸記念館との連携により、『「太素の水」保全と活用連合協議会』の「太素の水プロジェクト」として推進してきました。この活動は『人工河川稲生川開拓の志を活かした、人と自然が共に創る郷土を未来に』との共通理念のもと行われています。

### 太素の水プロジェクト活動団体

#### ■ 一本木沢ビオトープ協議会（松田石松 会長）

稲生川流域の農業用ため池を活用したビオトープは、多様な水辺の生物の生息環境となっており、自然観察会を開催して「自然」「教育」に関する活動を展開しています。

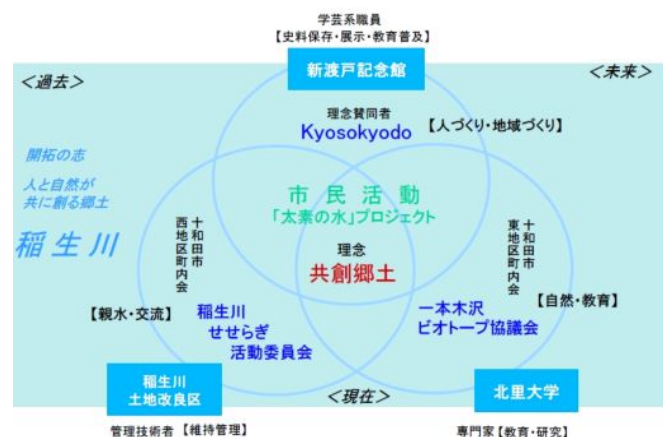
#### ■ 稲生川せせらぎ活動委員会（平野隆夫 会長）

稲生川の遊休地を利用して散策路が整備されたせせらぎ水路と稲生川ふれあい公園は、沿線16町内会の住民のアイディアにより「親水」と「交流」を目指して継続的に活動しています。

#### ■ Kyosokyodo 共創郷土（新渡戸富恵 会長）

稲生川・三本木原開拓の志を活かす地域づくりを目指し、新渡戸記念館と教育委員会との共催による人づくり・地域づくり塾における企画、実践サポート、ネットワーク構築などを実施しています。

「太素の水」保全活用連合協議会 組織・概念図



### 「太素の水プロジェクト」活動目標— 稲生川の自然、歴史、文化を守り、活かした地域づくり

- (1) 稲生川流域の自然の保全と活用の発展、及び稲生川開削と三本木原開拓の志の伝承。
- (2) 人と自然の共生や生物多様性の認識を学習と体験により深める。
- (3) 市民の自律的参加による地域文化の創造。
- (4) 稲生川を核に自然・農業・産業・教育・福祉・観光などの分野を有機的に結び相互に活かす仕組みづくり。
- (5) 震災を乗り越えてゆく拠点的な活動として他地域にも発信する。

今後とも、みなさまのあたたかいご支援、ご協力をよろしくお願い申し上げます。

「太素の水」保全と活用連合協議会 会長 新渡戸常憲

〒034-0031 十和田市東三番町 24-1 Tel/Fax 0176-23-4430 Email nitobemm@hi-net.ne.jp  
<https://sites.google.com/site/towadamirai/> 事務局（十和田市立新渡戸記念館 内）担当 角田